

## 会派視察報告 大津市議会 議会改革

### 1、松本市の課題と所感

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革調査部会」の議会改革総合ランキングによると、2010年にはランキング1位であった松本市議会は、翌年8位、12年34位、13年35位、14年58位、15年147位、16年81位、17年78位、18年134位と最近は低迷しています。

- ・情報共有
- ・住民参加
- ・機能強化

其々のポイントが総合評価です。この中で大きな課題は「議会機能強化」です。県内では伊那市や飯田市は30位代にランクインしており、松本市議会も議会活性化の取り組みを行なってきてますが、まだまだスピード感が足りません。議会改革を積極的に行いしいては投票率の向上に繋がるような改革を目指す必要が有ります。

### 2、視察の考察と成果

滋賀県大津市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革総合ランキングでは、2015年以降常に2位をキープしています。常に、松本市議会より早く導入が進み、平成22年6月には本会議での質問方式の見直しとして「一問一答方式・分割質問方式」を取り入れ、平成26年11月にタブレット端末の導入そして平成27年3月に、定めた「議会基本条例」を具現化する為に実行計画として「大津市市議会ミッションロードマップ」を同年10月に策定し、近隣の3大学とも各種協定を結びながら議会改革を進めています。市長と共に議員自ら目標設定をし、議員任期4年間における議員活動に対する市民への説明責任を果たす為の「市議会ミッションロードマップ」の策定は議員にとっては厳しいものですが、議員の質は上がると感じました。但し残念ながら議員の努力も投票率向上には結びついていないようです。

以上で報告を終わります